

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2009年9月28日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券（国債、政府保証債等）および準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券）を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	アジア・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券および準ソブリン債券
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券および準ソブリン債券を主要投資対象とし分散投資を行います。</li> <li>ソブリン債券・準ソブリン債券からの安定した利子収入の確保および信託財産の成長を目指して運用を行います。</li> </ul>	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。</li> <li>外貨建資産への実質投資は、制限を設けません。</li> <li>ソブリン債券以外への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の35%以内とします。</li> <li>同一企業が発行する債券への実質投資は、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>同一国・地域が発行する債券への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の35%以内とします。</li> </ul>
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>外貨建資産への投資は、制限を設けません。</li> <li>ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。</li> <li>同一企業が発行する債券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li> <li>同一国・地域が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。</li> </ul>
分配方針	毎月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、安定した分配を継続することをめざします。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）	

## 運用報告書（全体版）

# アジア・ソブリン・オープン （毎月決算型）



第191期（決算日：2025年8月22日）  
 第192期（決算日：2025年9月22日）  
 第193期（決算日：2025年10月22日）  
 第194期（決算日：2025年11月25日）  
 第195期（決算日：2025年12月22日）  
 第196期（決算日：2026年1月22日）



### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。  
 今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく  
 お願い申し上げます。



## 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル

**0120-151034**

（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			参 考 指 数		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額	産 額
		税 分 配	み 金	期 騰 落	中 率	期 騰 落				
	円		円		%		%		百万円	
167期(2023年8月22日)	8,818		25		0.3	26,227	96.8	—	1,604	
168期(2023年9月22日)	8,721		25	△0.8		26,178	96.9	—	1,584	
169期(2023年10月23日)	8,640		25	△0.6		26,070	96.0	—	1,585	
170期(2023年11月22日)	8,929		25	3.6		27,114	97.4	—	1,621	
171期(2023年12月22日)	8,709		25	△2.2		26,550	98.0	—	1,551	
172期(2024年1月22日)	8,898		25	2.5		27,324	96.2	—	1,583	
173期(2024年2月22日)	9,040		25	1.9		27,834	96.3	—	1,596	
174期(2024年3月22日)	9,085		25	0.8		28,120	95.9	—	1,589	
175期(2024年4月22日)	8,992		25	△0.7		27,940	97.6	—	1,569	
176期(2024年5月22日)	9,184		25	2.4		28,637	96.2	—	1,589	
177期(2024年6月24日)	9,311		25	1.7		29,237	96.6	—	1,596	
178期(2024年7月22日)	9,300		25	0.2		29,304	96.4	—	1,581	
179期(2024年8月22日)	8,994		25	△3.0		28,423	97.0	—	1,514	
180期(2024年9月24日)	9,088		25	1.3		28,926	97.7	—	1,525	
181期(2024年10月22日)	9,272		25	2.3		29,672	97.5	—	1,549	
182期(2024年11月22日)	9,255		25	0.1		29,722	97.0	—	1,547	
183期(2024年12月23日)	9,343		25	1.2		30,121	97.0	—	1,541	
184期(2025年1月22日)	9,275		25	△0.5		30,092	96.7	—	1,523	
185期(2025年2月25日)	9,056		25	△2.1		29,448	96.9	—	1,486	
186期(2025年3月24日)	9,024		25	△0.1		29,392	97.4	—	1,473	
187期(2025年4月22日)	8,612		25	△4.3		28,317	96.2	—	1,395	
188期(2025年5月22日)	8,936		25	4.1		29,473	96.4	—	1,446	
189期(2025年6月23日)	9,085		25	1.9		30,002	97.1	—	1,470	
190期(2025年7月22日)	9,256		25	2.2		30,667	96.3	—	1,493	
191期(2025年8月22日)	9,307		25	0.8		30,956	97.4	—	1,486	
192期(2025年9月22日)	9,314		25	0.3		31,142	96.9	—	1,486	
193期(2025年10月22日)	9,400		25	1.2		31,568	97.4	—	1,493	
194期(2025年11月25日)	9,597		25	2.4		32,371	97.3	—	1,505	
195期(2025年12月22日)	9,632		25	0.6		32,664	96.9	—	1,502	
196期(2026年1月22日)	9,598		25	△0.1		32,757	97.4	—	1,490	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、F T S E 世界国債インデックスの現地通貨建て国別サブインデックス（シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、韓国、台湾、タイ、中国）の基準日前営業日の各指数とJ.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルピー建て、ヘッジなし）の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJアセットマネジメントが円換算したうえ等ウェイトで合成し、当ファンド設定日を10,000として指数化したものです。なお、2022年8月1日以降、参考指数の国別サブインデックスの内、台湾を外し中国を追加して連続させて指数化しています。

各国の国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、各国国債の総合収益率を指数化した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っていません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

J.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルピー建て、ヘッジなし）：情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものです。J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数	債 券 債 先 物 比 率		
		騰 落 率	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	債 先 物 比 率
第191期	(期 首) 2025年7月22日	円 9,256	% —	30,667	% —	% 96.3	% —
	7 月 末	9,309	0.6	30,852	0.6	96.3	—
	(期 末) 2025年8月22日	9,332	0.8	30,956	0.9	97.4	—
第192期	(期 首) 2025年8月22日	9,307	—	30,956	—	97.4	—
	8 月 末	9,254	△0.6	30,797	△0.5	97.4	—
	(期 末) 2025年9月22日	9,339	0.3	31,142	0.6	96.9	—
第193期	(期 首) 2025年9月22日	9,314	—	31,142	—	96.9	—
	9 月 末	9,244	△0.8	30,937	△0.7	97.2	—
	(期 末) 2025年10月22日	9,425	1.2	31,568	1.4	97.4	—
第194期	(期 首) 2025年10月22日	9,400	—	31,568	—	97.4	—
	10 月 末	9,504	1.1	31,983	1.3	97.0	—
	(期 末) 2025年11月25日	9,622	2.4	32,371	2.5	97.3	—
第195期	(期 首) 2025年11月25日	9,597	—	32,371	—	97.3	—
	11 月 末	9,590	△0.1	32,371	0.0	97.1	—
	(期 末) 2025年12月22日	9,657	0.6	32,664	0.9	96.9	—
第196期	(期 首) 2025年12月22日	9,632	—	32,664	—	96.9	—
	12 月 末	9,634	0.0	32,665	0.0	97.1	—
	(期 末) 2026年1月22日	9,623	△0.1	32,757	0.3	97.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第191期～第196期：2025年7月23日～2026年1月22日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第191期首 9,256円

第196期末 9,598円

既払分配金 150円

騰落率 5.3%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ5.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

### 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

マレーシアやタイなど全ての投資した通貨が対円で上昇したことやインドネシアの金利が低下したことが、基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

韓国やインドなどの金利が上昇したことが、基準価額の下落要因となりました。

第191期～第196期：2025年7月23日～2026年1月22日

## 投資環境について

### ▶ 債券市況

**投資対象国・地域の金利はまちまちな動きでした。**

インドネシアやフィリピンでは、中銀が利下げを実施したことなどから、金利は低下しました。

韓国では、中銀が政策金利を維持するなか、半導体需要の高まりにより株式市場が上昇したことなどを背景に、金利は上昇しました。

### ▶ 為替市況

**全ての投資対象国・地域の通貨は円に対して上昇しました。**

マレーシアリングgitは、海外企業からのデータセンターの需要などを背景に、景気が堅調に推移していることなどから、対円で上昇しました。

タイバーツは、データセンターでのHDD製品需要などによる堅調な電気・電子関連輸出や観光シーズンの到来を背景に、対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ アジア・ソブリン・オープン（毎月決算型）

アジア・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象としており、実質的な運用はマザーファンドで行っています。

### ▶ アジア・ソブリン・オープン マザーファンド

日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券（国債、政府保証債、国際機関債などをいいます。）および準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用しました。

マレーシアやインド、インドネシアなどの債券組入比率を高めとしました。

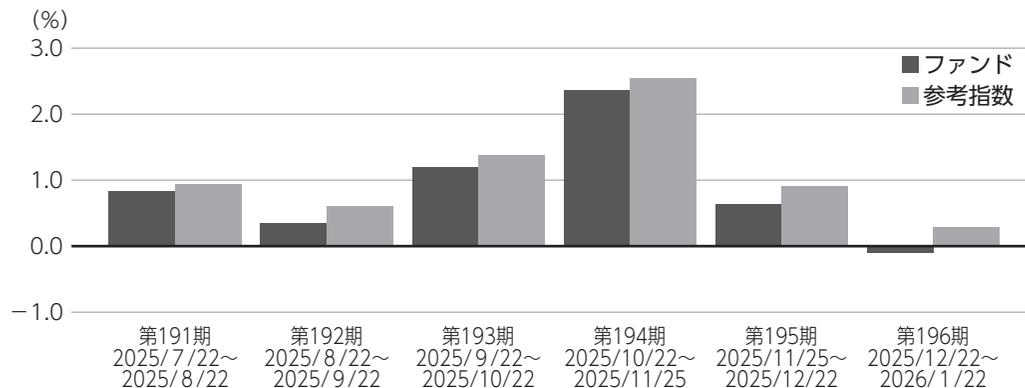
外貨建資産について、対円で為替ヘッジは行いませんでした。なお、米ドル建債券等の外国通貨建債券に投資した場合には、実質的に債券発行国（アジア諸国・地域）の自国通貨建てとなるように為替予約、直物為替先渡取引（NDF）などによる為替取引を行いました。（※当該期間においてはNDFの取引はありませんでした。）

※直物為替先渡取引とは、一種の外国為替先渡取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定した取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドルなどに換算して、受け渡しを行う取引です。

第191期～第196期：2025/7/23～2026/1/22

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数は、アジア国債インデックス（円ベース）です。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第191期 2025年7月23日～ 2025年8月22日	第192期 2025年8月23日～ 2025年9月22日	第193期 2025年9月23日～ 2025年10月22日	第194期 2025年10月23日～ 2025年11月25日	第195期 2025年11月26日～ 2025年12月22日	第196期 2025年12月23日～ 2026年1月22日
当期分配金 （対基準価額比率）	<b>25</b> (0.268%)	<b>25</b> (0.268%)	<b>25</b> (0.265%)	<b>25</b> (0.260%)	<b>25</b> (0.259%)	<b>25</b> (0.260%)
当期の収益	25	23	25	25	25	20
当期の収益以外	－	1	－	－	－	4
翌期繰越分配対象額	969	968	1,027	1,224	1,259	1,256

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ アジア・ソブリン・オープン（毎月決算型）

引き続き、アジア・ソブリン・オープンマザーファンド受益証券を主要投資対象として運用を行います。マザーファンドの組入比率を引き続き高位に保ち運用を行っていく方針です。

### ▶ アジア・ソブリン・オープン マザーファンド

景気が堅調に推移しているマレーシアや相対的に高金利国のインド・インドネシアなどの債券組入比率を高く維持し、安定的な利子収入の確保を目指します。

利息収入と債券価格の変動を考慮して、当面のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は期間末と概ね同程度とする予定です。デュレーションを調整するために、債券先物を使用する場合があります。

外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。外国通貨建債券に投資した場合には、原則として、実質的に債券発行国（アジア諸国・地域）の自国通貨建となるように為替予約、直物為替先渡取引などの為替取引を行います。

2025年7月23日～2026年1月22日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第191期～第196期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	78	0.832	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(45)	(0.477)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(31)	(0.333)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	12	0.128	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(11)	(0.117)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	( 1 )	(0.008)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	90	0.960	

作成期中の平均基準価額は、9,427円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

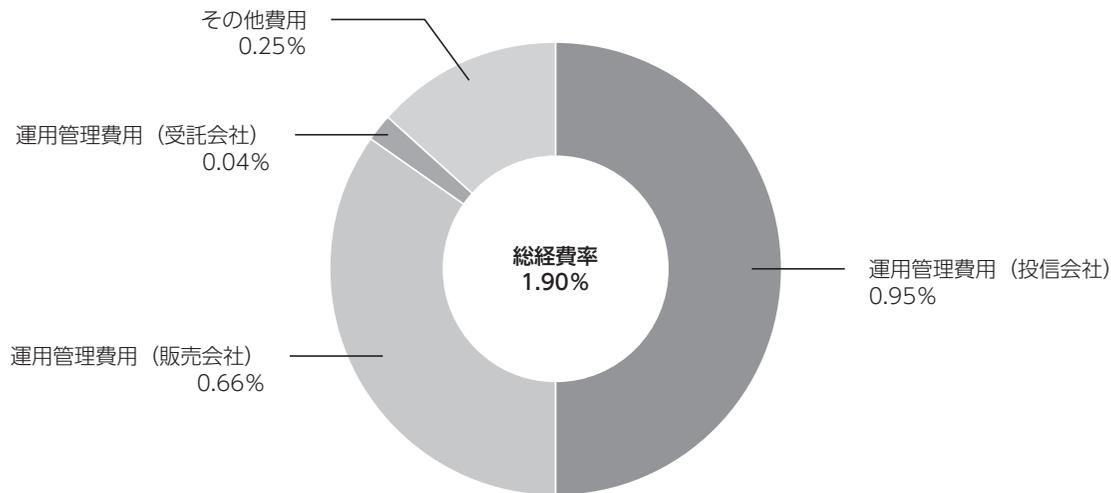
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.90%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年7月23日～2026年1月22日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第191期～第196期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
アジア・ソブリン・オープン	マザーファンド	6,901	21,883	36,813	115,803

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年7月23日～2026年1月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2026年1月22日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	第190期末	第196期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
アジア・ソブリン・オープン	マザーファンド	486,777	456,865	1,485,545

## ○投資信託財産の構成

(2026年1月22日現在)

項 目	第196期末	
	評 価 額	比 率
アジア・ソブリン・オープン マザーファンド	千円 1,485,545	% 99.1
コール・ローン等、その他	14,073	0.9
投資信託財産総額	1,499,618	100.0

(注) アジア・ソブリン・オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（1,467,496千円）の投資信託財産総額（1,488,504千円）に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=158.27円	1 ユーロ=184.95円	1 シンガポールドル=123.19円	1 マレーシアリングット=39.119円
1 タイバーツ=5.04円	1 フィリピンペソ=2.6699円	100インドネシアルピア=0.94円	100韓国ウォン=10.82円
1 インドルピー=1.74円	1 中国元=22.7248円		

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第191期末	第192期末	第193期末	第194期末	第195期末	第196期末
	2025年8月22日現在	2025年9月22日現在	2025年10月22日現在	2025年11月25日現在	2025年12月22日現在	2026年1月22日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,495,816,132	1,492,374,556	1,499,140,735	1,514,519,384	1,509,439,346	1,499,618,541
コール・ローン等	11,316,306	10,540,094	10,419,514	11,465,872	10,279,921	11,136,296
アジア・ソブリン・オープン マザーファンド(詳細欄)	1,482,064,421	1,481,834,327	1,488,680,244	1,500,812,574	1,497,986,937	1,485,545,111
未収入金	2,435,260	—	40,843	2,240,791	1,172,286	2,936,915
未収利息	145	135	134	147	202	219
(B) 負債	9,316,097	6,080,908	5,998,390	9,171,920	6,987,834	9,596,565
未払収益分配金	3,992,909	3,989,490	3,971,123	3,921,467	3,899,627	3,881,037
未払解約金	3,225,393	8,831	6,419	2,938,993	1,258,931	3,606,153
未払信託報酬	2,092,230	2,077,058	2,015,481	2,305,324	1,824,420	2,103,774
その他未払費用	5,565	5,529	5,367	6,136	4,856	5,601
(C) 純資産総額(A-B)	1,486,500,035	1,486,293,648	1,493,142,345	1,505,347,464	1,502,451,512	1,490,021,976
元本	1,597,163,946	1,595,796,356	1,588,449,373	1,568,587,189	1,559,851,137	1,552,415,065
次期繰越損益金	△ 110,663,911	△ 109,502,708	△ 95,307,028	△ 63,239,725	△ 57,399,625	△ 62,393,089
(D) 受益権総口数	1,597,163,946口	1,595,796,356口	1,588,449,373口	1,568,587,189口	1,559,851,137口	1,552,415,065口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,307円	9,314円	9,400円	9,597円	9,632円	9,598円

○損益の状況

項 目	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期	第196期
	2025年7月23日～ 2025年8月22日	2025年8月23日～ 2025年9月22日	2025年9月23日～ 2025年10月22日	2025年10月23日～ 2025年11月25日	2025年11月26日～ 2025年12月22日	2025年12月23日～ 2026年1月22日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	2,235	2,500	2,256	2,533	2,008	3,580
受取利息	2,235	2,500	2,256	2,533	2,008	3,580
(B) 有価証券売買損益	14,236,259	7,139,488	19,652,496	37,025,930	11,196,178	618,783
売買益	14,381,964	7,330,438	19,839,408	37,285,663	11,500,500	781,169
売買損	△ 145,705	△ 190,950	△ 186,912	△ 259,733	△ 304,322	△ 162,386
(C) 信託報酬等	△ 2,097,795	△ 2,082,587	△ 2,020,848	△ 2,311,460	△ 1,829,276	△ 2,109,375
(D) 当期損益金 (A+B+C)	12,140,699	5,059,401	17,633,904	34,717,003	9,368,910	△ 1,487,012
(E) 前期繰越損益金	98,427,573	106,024,662	106,377,304	118,285,231	147,971,381	151,750,075
(F) 追加信託差損益金	△217,239,274	△216,597,281	△215,347,113	△212,320,492	△210,840,289	△208,775,115
(配当等相当額)	( 42,631,191)	( 43,108,222)	( 43,188,449)	( 42,968,015)	( 43,049,403)	( 43,856,964)
(売買損益相当額)	(△259,870,465)	(△259,705,503)	(△258,535,562)	(△255,288,507)	(△253,889,692)	(△252,632,079)
(G) 計 (D+E+F)	△106,671,002	△105,513,218	△ 91,335,905	△ 59,318,258	△ 53,499,998	△ 58,512,052
(H) 収益分配金	△ 3,992,909	△ 3,989,490	△ 3,971,123	△ 3,921,467	△ 3,899,627	△ 3,881,037
次期繰越損益金 (G+H)	△110,663,911	△109,502,708	△ 95,307,028	△ 63,239,725	△ 57,399,625	△ 62,393,089
追加信託差損益金	△217,239,274	△216,597,281	△215,347,113	△212,320,492	△210,840,289	△208,775,115
(配当等相当額)	( 42,636,201)	( 43,123,616)	( 43,194,412)	( 42,976,018)	( 43,054,527)	( 43,880,876)
(売買損益相当額)	(△259,875,475)	(△259,720,897)	(△258,541,525)	(△255,296,510)	(△253,894,816)	(△252,655,991)
分配準備積立金	112,276,196	111,479,074	120,040,085	149,080,767	153,440,664	151,125,822
繰越損益金	△ 5,700,833	△ 4,384,501	—	—	—	△ 4,743,796

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 1,614,064,257円  
 作成期中追加設定元本額 32,168,371円  
 作成期中一部解約元本額 93,817,563円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9598円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は62,393,089円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2025年7月23日～ 2025年8月22日	2025年8月23日～ 2025年9月22日	2025年9月23日～ 2025年10月22日	2025年10月23日～ 2025年11月25日	2025年11月26日～ 2025年12月22日	2025年12月23日～ 2026年1月22日
費用控除後の配当等収益額	4,392,145円	3,773,769円	4,700,023円	5,597,412円	3,999,879円	3,256,784円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	8,579,924円	29,119,591円	5,369,031円	—円
収益調整金額	42,636,201円	43,123,616円	43,194,412円	42,976,018円	43,054,527円	43,880,876円
分配準備積立金額	111,876,960円	111,694,795円	110,731,261円	118,285,231円	147,971,381円	151,750,075円
当ファンドの分配対象収益額	158,905,306円	158,592,180円	167,205,620円	195,978,252円	200,394,818円	198,887,735円
1万円当たり収益分配対象額	994円	993円	1,052円	1,249円	1,284円	1,281円
1万円当たり分配金額	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金金額	3,992,909円	3,989,490円	3,971,123円	3,921,467円	3,899,627円	3,881,037円

## ○分配金のお知らせ

	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期	第196期
1 万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

\*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

# アジア・ソブリン・オープン マザーファンド

## 《第33期》決算日2026年1月22日

[計算期間：2025年7月23日～2026年1月22日]

「アジア・ソブリン・オープン マザーファンド」は、1月22日に第33期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第33期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券（国債、政府保証債等）および準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券）を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券および準ソブリン債券
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外貨建資産への投資は、制限を設けません。</li> <li>・ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。</li> <li>・同一企業が発行する債券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・同一国・地域が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。</li> </ul>

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
29期(2024年1月22日)	27,296	3.5	27,324	4.5	96.5	—	1,578
30期(2024年7月22日)	29,251	7.2	29,304	7.2	96.7	—	1,576
31期(2025年1月22日)	29,905	2.2	30,092	2.7	97.0	—	1,518
32期(2025年7月22日)	30,598	2.3	30,667	1.9	96.6	—	1,489
33期(2026年1月22日)	32,516	6.3	32,757	6.8	97.7	—	1,485

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、F T S E 世界国債インデックスの現地通貨建て国別サブインデックス（シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、韓国、台湾、タイ、中国）の基準日前営業日の各指数と J.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルビー建て、ヘッジなし）の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJアセットマネジメントが円換算したうえで等ウェイトで合成し、当ファンド設定日を10,000として指数化したものです。なお、2022年8月1日以降、参考指数の国別サブインデックスの内、台湾を外し中国を追加して連続させて指数化しています。

各国の国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、各国国債の総合収益率を指数化した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

J.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルビー建て、ヘッジなし）：情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものです。J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額		参 考 指 数		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
	騰 落 率	率	騰 落 率	率			
(期 首) 2025年 7月22日	円 30,598	% —	30,667	% —	96.6	%	—
7 月 末	30,786	0.6	30,852	0.6	96.6	—	—
8 月 末	30,728	0.4	30,797	0.4	97.7	—	—
9 月 末	30,823	0.7	30,937	0.9	97.4	—	—
10 月 末	31,823	4.0	31,983	4.3	97.2	—	—
11 月 末	32,239	5.4	32,371	5.6	97.4	—	—
12 月 末	32,520	6.3	32,665	6.5	97.4	—	—
(期 末) 2026年 1月22日	32,516	6.3	32,757	6.8	97.7	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

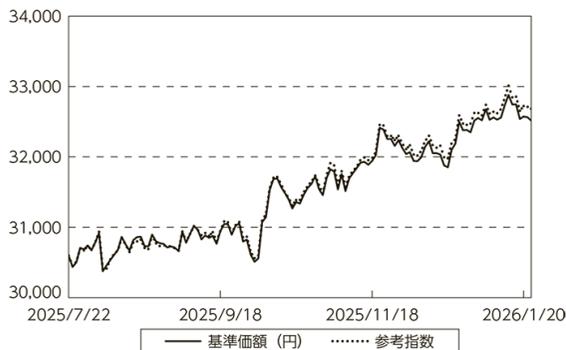
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ6.3%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

マレーシアやタイなど全ての投資した通貨が対円で上昇したことやインドネシアの金利が低下したことが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

韓国やインドなどの金利が上昇したことが、基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎債券市況

- ・投資対象国・地域の金利はまちまちな動きでした。
- ・インドネシアやフィリピンでは、中銀が利下げを実施したことなどから、金利は低下しました。
- ・韓国では、中銀が政策金利を維持するなか、半導体需要の高まりにより株式市場が上昇したことなどを背景に、金利は上昇しました。

## ◎為替市況

- ・全ての投資対象国・地域の通貨は円に対して上昇しました。
- ・マレーシアリングgitは、海外企業からのデータセンターの需要などを背景に、景気が堅調に推移していることなどから、対円で上昇しました。
- ・タイバーツは、データセンターでのHDD製品需要などによる堅調な電気・電子関連輸出や観光シーズンの到来を背景に、対円で上昇しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券(国債、政府保証債、国際機関債などをいいます。)および準ソブリン債券(政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。)を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用しました。
- ・マレーシアやインド、インドネシアなどの債券組入比率を高めとしました。
- ・外貨建資産について、対円で為替ヘッジは行いませんでした。なお、米ドル建債券等の外国通貨建債券に投資した場合には、実質的に債券発行国(アジア諸国・地域)の自国通貨建てとなるように為替予約、直物為替先渡取引(NDF)などによる為替取引を行いました。(※当該期間においてはNDFの取引はありませんでした。)

※直物為替先渡取引とは、一種の外国為替先渡取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定した取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドルなどに換算して、受け渡しを行う取引です。

## ○今後の運用方針

- ・景気が堅調に推移しているマレーシアや相対的に高金利国のインド・インドネシアなどの債券組入比率を高く維持し、安定的な利子収入の確保を目指します。
- ・利息収入と債券価格の変動を考慮して、当面のデュレーション(平均回収期間や金利感応度)は期間末と概ね同程度とする予定です。デュレーションを調整するために、債券先物を使用する場合があります。
- ・外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。外国通貨建債券に投資した場合には、原則として、実質的に債券発行国(アジア諸国・地域)の自国通貨建てとなるように為替予約、直物為替先渡取引などの為替取引を行います。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年7月23日～2026年1月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 40	% 0.126	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(37)	(0.117)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ そ の 他 ）	( 3 )	(0.009)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	40	0.126	
期中の平均基準価額は、31,510円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年7月23日～2026年1月22日)

## 公社債

		買付額	売付額
外 国	シンガポール	千シンガポールドル —	千シンガポールドル 376
	タイ	千タイバーツ 4,810	千タイバーツ —
	フィリピン	千フィリピンペソ —	千フィリピンペソ 5,220
	インドネシア	千インドネシアルピア —	千インドネシアルピア 2,074,000
	韓国	千韓国ウォン 98,052	千韓国ウォン —
	中国	千中国元 1,000 特殊債券 2,117	千中国元 3,146 —

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年7月23日～2026年1月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2026年1月22日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
シンガポール	千シンガポールドル 1,100	千シンガポールドル 1,129	千円 139,143	% 9.4	% —	% 9.4	% —	% —
マレーシア	千マレーシアリンギット 7,000	千マレーシアリンギット 7,254	283,782	19.1	—	19.1	—	—
タイ	千タイバーツ 31,000	千タイバーツ 33,110	166,878	11.2	—	11.2	—	—
フィリピン	千フィリピンペソ 65,000	千フィリピンペソ 65,376	174,548	11.7	—	8.9	0.9	1.9
インドネシア	千インドネシアルピア 22,000,000	千インドネシアルピア 22,383,900	210,408	14.2	—	14.2	—	—
韓国	千韓国ウォン 1,500,000	千韓国ウォン 1,462,262	158,216	10.7	—	9.9	0.7	—
インド	千インドルピー 128,000	千インドルピー 129,226	224,854	15.1	—	13.2	1.9	—
中国	千中国元 4,000	千中国元 4,136	93,995	6.3	—	6.3	—	—
合 計	—	—	1,451,827	97.7	—	92.3	3.5	1.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	額面金額	当期		償還年月日
				評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
シンガポール		%	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千円	
	国債証券	1.875 SINGAPORGOV 511001	300	282	34,850	2051/10/1
		2.375 SINGAPORGOV 390701	400	408	50,335	2039/7/1
		3.375 SINGAPORGOV 330901	400	438	53,957	2033/9/1
小	計				139,143	
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券	2.632 MALAYSIAGOV 310415	1,000	963	37,699	2031/4/15
		3.582 MALAYSIAGOV 320715	1,000	1,005	39,348	2032/7/15
		3.828 MALAYSIAGOV 340705	1,000	1,016	39,763	2034/7/5
		4.232MALAYSIAGOV 310630	2,000	2,085	81,576	2031/6/30
		4.642 MALAYSIAGOV 331107	1,000	1,074	42,018	2033/11/7
		4.893 MALAYSIAGOV 380608	1,000	1,108	43,376	2038/6/8
小	計				283,782	
タイ			千タイバーツ	千タイバーツ		
	国債証券	1.585 THAILAND 351217	10,000	9,673	48,752	2035/12/17
		2.98 THAILAND 450617	4,000	4,186	21,101	2045/6/17
		3.39 THAILAND 370617	7,000	7,895	39,795	2037/6/17
		3.775 THAILAND 320625	10,000	11,354	57,228	2032/6/25
小	計				166,878	
フィリピン			千フィリピンペソ	千フィリピンペソ		
	国債証券	5.75 PHILIPPINE 280307	5,000	5,050	13,484	2028/3/7
		6.25 PHILIPPI (GL) 360114	50,000	49,793	132,943	2036/1/14
		8.625 PHILIPPINE 270906	10,000	10,532	28,120	2027/9/6
小	計				174,548	
インドネシア			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
	国債証券	6.625 INDONESIA 330515	22,000,000	22,383,900	210,408	2033/5/15
小	計				210,408	
韓国			千韓国ウォン	千韓国ウォン		
	国債証券	2.625 KOREA TREAS 300310	100,000	96,849	10,479	2030/3/10
		2.875 KOREA TREAS 440910	200,000	181,426	19,630	2044/9/10
		3.25 KOREA TREASU 330610	200,000	195,402	21,142	2033/6/10
		3.25 KOREA TREASU 530310	500,000	477,840	51,702	2053/3/10
		3.5 KOREA TREASUR 340610	200,000	198,333	21,459	2034/6/10
		4.25 KOREA TREASU 321210	300,000	312,409	33,802	2032/12/10
小	計				158,216	
インド			千インドルピー	千インドルピー		
	国債証券	6.54 INDIA GOVT 320117	50,000	49,703	86,483	2032/1/17
		7.18 INDIA GOVT 330814	50,000	51,349	89,348	2033/8/14
	特殊債券	7 IADB 330417	12,000	11,964	20,817	2033/4/17
		7.35 IADB 301006	16,000	16,209	28,204	2030/10/6
小	計				224,854	
中国			千中国元	千中国元		
	国債証券	1.83 CHINA GOVT 350825	1,000	999	22,711	2035/8/25
		2.47 CHINA GOVT 540725	1,000	1,027	23,343	2054/7/25

銘	柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
中国		%	千中国元	千中国元	千円	
	特殊債券 2.77 CHINA DEV 321024	2.77	2,000	2,109	47,941	2032/10/24
	小 計				93,995	
	合 計				1,451,827	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2026年1月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,451,827	97.5
コール・ローン等、その他	36,677	2.5
投資信託財産総額	1,488,504	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（1,467,496千円）の投資信託財産総額（1,488,504千円）に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=158.27円	1 ユーロ=184.95円	1 シンガポールドル=123.19円	1 マレーシアリングgit=39.119円
1 タイバーツ=5.04円	1 フィリピンペソ=2.6699円	100インドネシアルピア=0.94円	100韓国ウォン=10.82円
1 インドルピー=1.74円	1 中国元=22.7248円		

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年1月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,499,563,656
コール・ローン等	24,536,194
公社債(評価額)	1,451,827,718
未収入金	11,071,263
未収利息	12,064,518
前払費用	63,963
(B) 負債	13,996,005
未払金	11,059,090
未払解約金	2,936,915
(C) 純資産総額(A-B)	1,485,567,651
元本	456,865,885
次期繰越損益金	1,028,701,766
(D) 受益権総口数	456,865,885口
1万口当たり基準価額(C/D)	32,516円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 486,777,940円  
 期中追加設定元本額 6,901,447円  
 期中一部解約元本額 36,813,502円  
 また、1口当たり純資産額は、期末3,2516円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)  
 アジア・ソブリン・オープン(毎月決算型) 456,865,885円

## ○損益の状況 (2025年7月23日～2026年1月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	32,698,034
受取利息	32,698,034
(B) 有価証券売買損益	59,247,227
売買益	91,916,288
売買損	△ 32,669,061
(C) 保管費用等	△ 1,882,687
(D) 当期損益金(A+B+C)	90,062,574
(E) 前期繰越損益金	1,002,647,001
(F) 追加信託差損益金	14,982,547
(G) 解約差損益金	△ 78,990,356
(H) 計(D+E+F+G)	1,028,701,766
次期繰越損益金(H)	1,028,701,766

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。